## 渋谷区域行政区画等変遷

年代 1748 東亜元年 1十一番組制的を 12中間 12日東 12日東 12日東 12日東 12日東 12日東 12日東 12日東	文化7年~文政11年 新編武蔵風土記稿		1868~1869 更多4年 - 明治之年 決性在地域 同成於明末 - 让专会相談 - 市政制研の企画下 (即5446月19日1円自合利用) 風域制研研修下社 現故制研研修下社 現故制研研修下社	1869 衛治之年3月16日申請 五十書編輯 行成世布 (本七年) 東京協力五書編輯 (第82年5月8日申認)	1871 明治4年6月9日 未引外44区 未引外4大区26小区 東谷区地域 第一大区三小区 第二大区四小区 第二大区四小区	1873~1874 電路合年3月 未到時(6万亿百万60名) 未到外(6万亿百340名) 電路7年1月 未到時(6万亿百70年3) 未到外(6万亿百70年3)	1878 1879 * 1886 報告12年 * 10年 國政共和制 1626日 新成本時期 1626日 新成本年期 1626日 新成本年期 1626日 第18年 1626年 1636年 1636 (1811年 1626年 1636年	1889 <b>敬益22年5月1日</b> <b>市館電社協設</b> (図图22744月1日 日本電話25명)		1896 電池20年4月1日 南登島等・京多季等を廃止し 豊多卓等を設置 (第820年3月20日出車第37円)	1907~1915 報始40年~大正4年 計一司金称	1928 原和3年1月1日第行 接待电の大学・小学区域 名称更定 - 参数据更 (阿和2年11月22日前号项第506号)	1932 電和7年10月1日施行 東京安全公医老輔配 (3-56 当時 " 七知時 " 代和衛王県 七 東京水-48人儿,当任在計算 (新77年30月日前日第370-31年) 新設公区公司物電名 (第77年30月日前月855年)	1943 • 1947 医和1947月1日東京都開行 (原町1940日日沿海社市政府の) 東京市・東京市市連計 第12243月15日、50日と226人青睐成 第22245月5日、特別な協議行 (原列2244月17日初7日日出海市建市第07日) 日本日7日日20日出海市建市第07日) 日本日7日日20日出海市建市第07日)	1958~1981 節和33年~配和36年 地看祖年・区里在世界東 京市於公司的世界世界前程 (日初32年5月1日 前中東2日)	1963~1970 医取込時~医取46年 住居民工用子必定 住民民工用子必定 (EEJ749100BF 北岸第1108)	到 在 配和5年~ 現行电丁音報在一覧
行政区間等	豊 島 郡 上決谷村	皇 島 郡 上映谷村	(撤長4年6月29日)		第三大区二小区	ASST (UNESCUE)		東京府南登島郡 学 教 谷 村		東京府豊多摩郡 決 谷 村	東京府豊多摩郡 美 谷 町	東京府量多摩耶 決 谷 町	東京市談谷区	東京都決谷区	東京都渋谷区 東比等使民土地区開整理総合事業	東京都渋谷区 住居表示集行	東京都抜谷区 電丁目 よみ 質 区
	遊玄城町・上知植	TXUN	東京市配置 (一本) (商64年7月17日)		明治4年8月			上浜日村・中浜日村・下浜日村を合併	下近台村学开開台(井川山東)は展布区へ8		総842年1月1日施行派当村を改称 (総841年12月26日府告第222号)	恵比寿通一丁目(1~40・42)	想比等进一丁目		昭和35年2月16日銀行	昭和38年7月1日施行	<b>自比●一丁目</b> 209 1∼35
	吉川屋縛(吉川屋敷) チンコロ屋縛(ちんころ屋敷)				族谷区地域 51・55・58・58区			大学上荣告				恵比寿道二丁目(1~20・22・24・26・28) 下道一丁目(1~10・12・14)	想比等进二丁目 下进一丁目		(昭和35年2月16日 都告示第188号) 東比賽第一丁目	(昭和38年6月29日 東京都告示第687号) <b>被第一丁音</b> (栄養一丁目:1・栄養二丁日・大母語・松瀬町)	製比等三丁目 1~39 自比等三丁目 1~49
	外籍(外ヶ緒)・原・八段田 辛姓氏(李姓氏)・大原				明治4年11月			司責(1~24) 厄耕地(25~99)				下进二丁目 (1~19・21・23・25) 下进三丁目 (1~34・36・38・40・42)	下进二丁目 下进三丁目		(山下町・東丘町・下道町丁日・代宮山町・丹坂町) 車比摩塚二丁目	数■一丁目 (米酒二丁目・大山司全・代々木面ヶ谷司) 神 山 町	8119676 1~28 68-76 030 1~16
	前報地・台戸 瀬谷・北谷・下村(下夕村)				病態整果により旧東京府を廃止 東京府を受量			型尺 (100~135) 字田川 (136~166)				下通四丁目 (1~40·42·44·46·48) 下通五丁目 (1~29·31·33·35·37)	Tääte BIZÄÄ		(丹侯司·田韓司·中西一丁日· 下西四丁日·公会堂语) 事比學哲一丁日	(大凡語・松瀬町・神山町・神南町・代々木面ヶ台町・代々木深町) <b>田ヶ曽一丁</b> 目 (代々木面ヶ台町・代々木深町)	広尾二丁目 1~22 広尾三丁目 1~17
	小字 · 字田川 丸山 · 下田 · 適面							竹ノ下 (280~316) 旅旨[輝兵衛]				公会型通 (1~34·36·38·40·42) 中进一丁目 (1~38·40)	公会型器 中进一丁目		(公会堂通・長台戸町・下通四丁目・下通五丁目)	富ヶ倍二丁目(代内木上原司・代内木置ヶ台司) 上原一丁目(代内木本司全・代内木上原司・代内木置ヶ台司)	<b>食用用丁包</b> 1~3 <b>食用五丁包</b> 1~25
	牌防山・湾水窟							大原[課兵道]				中进二丁目 (1~38・40・42)	中道二丁目		<ul><li>主比を配二丁目 (公会堂者・関係司・代告山司・丹後司・長台戸司・田毎司)</li></ul>	上限二丁目(代々木上原町・代々木富ヶ谷町)	東一丁音 ひがし 1~36
	清水台 - 長塚 亦初検							大字中景替 総ノ内(1~54甲)(総2内)				中選三丁目 (1~56·58·60) 八城道一丁目 (1~36·38)	中語三丁目 八幡語一丁目		<b>東比等時一丁目</b> (向山町・下道四丁目・原丘町・丹後町)	大山町(代々木九川町・代々木九川町)	東三丁名 1~27
	上登單材 下村・小平	上量只符	•					並木 (54乙~112) 並木部 (113~198)				//順過二丁目 (1~27·29·31) //順過三丁目 (1~26·28·30)	八城进二丁目 八城进三丁目		市比号機二丁目 (段山町・下通五丁目・原町・山下町・丹後町)	昭和40年3月1日施行	東西丁章 1~14 自比時有一丁目 2019年9年 1~26
	宇田川 - 丸山 大原 - 原町道							大和田下 (199~270) 遊茶坂 (271~348)				上进一丁目 (1~26·28·30·32) 上进二丁目 (1~56·58·60·62·64·66·68)	18-78 18-78		第 区 外 (地方日泊出第260第に至づき問時振行) 電和35年2月15日施行	(昭和40年2月27日 東京都告示第187号) 神名前一丁目	自比多有二丁音 1~31 自比多有三丁音 1~12
	道玄坂道 中 <b>豊厚村</b>	中華民村	•					大和田 (349~403) 長谷戸 (404~472)				上通三丁目 (1~64·66) 上通四丁目 (1~41·43·45)	EMETE EMETE		(昭和35年3月10日 都告示第330号) 意比學哲一丁音 (長谷戸町)	(竹下町・代々木外編町・穏田一丁日・穂田三丁日・緑田三丁日) 神田は二丁目 (原暦一丁日・藤田三丁日・千駄ヶ谷二丁日)	<b>会比与日</b> ─丁書 209年レ 1~36 会比与日二丁書 1~21
	振楽塚・神泉ヶ谷 (神泉谷) 鉢山・鮒林・大山		武能知県事 古賀一平支配所受取					類山 (473~502) 東平台 (503~562)				業過一丁目 (1~39・41・43) 業過二丁目 (1~13・15)	栄適一丁目 栄適二丁目		東比中第二丁目(日山町)	神会報道丁音 (物金一丁目・赤色二丁目・赤色三丁目) 神会報道丁音 (物金一丁目・赤色二丁目・赤色三丁目)	代官山町 だいかんかきちょう 1~20
	神山・小丸・平代		明8元年11月5日 東京府	地方一番組				型尺 (563~634) 物教旨 (635~704)				大物道 (1~28・30・32・34)	大府通			神会的五丁書(上述一丁目・青葉町・柳田一丁目・柳田二丁目)	<ul> <li>(日本的 さらくちょう 1~30 日本的 35ms5ょう 1~15 日本的 30ms55ょう 1~15 日本的 30ms55ょう 1~19</li> </ul>
	中決谷村	中跌答符	中教告书	中跌谷村				大山 (705~742)				神宮道二丁目 (1~18・20) 神宮道二丁目 (1~36・38・40・42・44・46)	神医道二丁目			神事的人丁目 (物質者ニブロ・宮下町・物両町・物田一丁日・物田二丁日・物田三丁日)	<b>決位一丁目</b> 1-27
	蜂山・神泉ヶ谷 昭ノ内・大和田				報始4年11月28日 6大区97小区制	報治7年3月8日 11大区103小区制		神山 (743~783) 第町 (784~824)				伊達 (1~102) 最近 (1~61)	伊達司 銀丘司			昭和41年4月1日節行	<b>共参二丁目</b> 1~24 <b>共参三丁目</b> 1~29
	宇宙川・並木・神山 第町・六段首				第二大区十六小区	第七大区一小区		大衛 (825~888) 宇田川 (889~982)				防山 (1~103) 原 (1~48)	的山町 藤町		東京都炎谷区场番茄理事業 昭和33年10月1日第行	(昭和41年3月28日 東京都告示第229号) 東谷一丁田 (青葉町・美竹町全・宮下町・神宮道二丁日道・	現代的では   1-6   日本的   1-6   日本的   1-6   日本的   1-31   日本的   1-20   日本的   1-20   日本的   1-20
	下決谷材 演組封	下跌谷村	下跌谷村	下映谷村	下決谷材	下跌倍村		大字下映管				長8戸 (1~73) 山下 (1~66)	長谷戸町 山下町		(例(33至3月10日 音が第30号) (例(33至3月25日 都告析例(73号) 千数ヶ谷一丁目	物田二丁目・上通一丁目・上通二丁目) <b>決修二丁目</b>	南平台町 なみへいだいちょう 1~20 遊玄領一丁目 どうけんきり 1~22
	遊城地 換豪塚							期地 (47~63) 重分 (64~180)				前標 (1~68) 萱澤 (1~68)	財務司 豊沢司		(干駄ヶ台一丁目・干駄ヶ台二丁目・干駄ヶ台三丁目・ 干駄ヶ台大台戸町)	(中語三丁目・並木司・八峰語一丁目・金王司・上語一丁目・上語二丁目) 演修三丁目(中語二丁目語・中語三丁目・並木司・八峰語一丁目・	着女板二丁目 1~30
	羽澤 上知組							羽横尺 (181~270) 常盤松 (271~337)	原图村预均预模尺を合体			元応尼 (1~35) 吉代 (1)	元広範司 宮代司		千数ヶ巻二丁書 (千数ヶ谷二丁書・千数ヶ谷三丁書・原書一丁書)	八株酒二丁目・金王司) 黄砂百丁目 (常館松司・八株酒一丁目・株両司・上酒一丁目)	円山町 8308542 1~28 神田町 LAMA542 1~25 祖籍一丁田 64262 1~30
	954888							利用 (383~382) 部 (383~510)				意的 (1~34) 象性 (1~51)	豊分町 東投町		<b>千数ヶ巻三丁書</b> (代な木山台町・代な木外幕町・千駄ヶ台二丁目・	東一丁書(日曜司・沙川司・州部松司・中西二丁日・八峰送一丁日・ 八峰西二丁日・泰比寿東二丁日直)	<b>金銀二丁目</b> 1~22
	溶酸组 資施内							伊朗初 (511~591)				上版 (1~60)	上智町		干駄ヶ台三丁目)	東二丁目(氷川町・中通二丁日・老木町道・悪比寿東二丁日)	<b>宇田川町</b> 259/0542 1~42
	部数句 永谷戸							伊雅山 (592~644) 田子帛 (645~712)				疗後 (1~34) 素薬 (1~48)	別後町 意楽町		千数ヶ倍の丁書 (干数ヶ倍三丁目・干数ヶ谷四丁目)	東三丁目 (永住町・上部町・氷川町道・中港一丁日・ 中港二丁日道・下港三丁目・若木町道・恵比寿東二丁日)	神魔二丁目 1~3
	伊東部 由子角							振楽 (713~798) 代密山 (799~958)				代官山 (1~27) 由每 (1~17)	代官山町田毎町		千数ヶ谷五丁目 (干数ヶ谷一丁目・干数ヶ谷四丁目・干駄ヶ台五丁目)	東西丁昌(常数松司・緑南司・石木司)	代尺本神器町 64559そ0540 1~4 上田一丁目 9885 1~47
	伊勢山							回収制 (959~1062) 長谷戸 (1063~1168)				8川 (1~58) 芸术 (1~33)	水川町 石木町		医初34年6月15日施行	<b>昭和41年7月1日施行</b> (総和41年6月29日 東京都告示第605号)	上版二丁章 1~48 上版三丁章 1~46
	八股丸 欠線 (設場)							第ヶ崎(1169~1241) 応総市(1242~1366)				翌澤 (1~104) 常憩松 (1~103)	初穴町 常錦松町		(長和34世5月15日 長水南17号) (長和34世6月5日 新西水南485号) 代本本一丁目	電比等一丁目(恵比寿送二丁日・新焼司・山下司・下送二丁日月・ 下送三丁日月・恵比寿楽一丁日・恵比寿来二丁日返)	<b>全ヶ巻一丁目</b> とみがり 1~54 <b>電ヶ巻二丁目</b> 1~45
A-1140	下量彈材	下量沢村 青山町方書上	下量沢村	下量呎村	下量沢村	下量尺寸		改山(1367~1472) 欠線(1473~1529)				銀筒 (1~23) 金玉 (1~78)	線問司 金王司		(干ី数ヶ谷田丁巻・干ី数ヶ谷五丁巻・代々本山谷町)	<b>童比學二丁目</b> (登尺司全・悪比寿通一丁目・悪比寿通二丁目道・ 朝韓司・下通一丁目河・下通二丁目河)	EQ-T8 EU85 1~50 EQ-T8 1~53
青山祭密町 青山久保町		南山原密町 南山久保町	+	<b>非</b> 山久保町				明日 (1530~1677) 豊沢 (1678~1763)				並工 (1~76) 並木 (1~34) 装養 (1~57)	並不可		代々木二丁書 (予能ヶ岩五丁書・代々木山岩町)	東比寺三丁田 (伊達司全・東丘司道・恵比寺通一丁日・恵比寿通二丁日道)	<b>日東三丁日</b> 1~8 • 11~49
		靠山兽光寺門前		青山兽光寺門町				伊建路 (1764~1841)				郊山 (1~46)	鲜山町		代々木三丁目 (干駄ヶ日五丁目・代々木山台町・代々木前町)	意比争の丁音	大山町 8898543 1~47
然谷學花寺門前 然谷樂福寺門前		<b>淡谷町方書上</b> 淡台東福寺門前			明63年1月分離		森市区	伊迪丽 (1842~1883) 回尼耕地 (1884~1942)				電音 (1~48) 概任 (1~98)	常任町 枝丘町		医和36年11月15日旅行	(東丘町・恵比寿造二丁目・山下町道・恵比寿東一丁目・恵比寿東二丁目道) <b>広用一丁目</b>	#6-78 #250 1~55 #6=78 1~11+13~31
跌谷広尾町 跌谷道玄坝町		於谷広尾町 於谷道玄坂町		然台店港町	* ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	統督高層町	प्रस्कारण प्रस्कारण	大学装谷広尾町 (1~27)	展布区近台記号司を購入合併			再平台 (1~54) 大和田 (1~112)	南平台町 大和田町		(時期36年10月16日 西州地方93) (時期36年10月28日 都西州第1186号) 代本本書丁書	(下通二丁目・下通三丁目・豊分司・永住司・上旨司・中通一丁目) <b>広用二丁目</b> (豊分司・永住司・邵沢司)	本町一丁目 0.485 1~63 本町二丁目 1~48
大田道		於台宮莊町	然谷宮益町	然谷宮益町	→ 然谷上広尾町 ・ 然谷下広尾町	然谷上広場町 然谷下広場町	然於上瓜德司 然於下瓜德司		展布区近台上広港町 (5~9億地) を購入会( 展布区近台下広港町を購入会併	=		美竹 (1~41) 商業 (1~22)	美竹司		(代权木納司・代及木山台町・代及木初台町) <b>代</b> 校木五丁目	広用三丁音 (特部松司道・羽尺司・石木司道) 広用田丁書 (発尺司道・四代司)	本町三丁巻 1~04 本町田丁書 1~04
麻布広尾町 麻布高科代地町				麻布広地町 第一	麻布広尾町	麻布広尾町 新井町	森市広尾町 朗泊12年4月22日 森市広尾町 新井町 新井町を合体(行布連甲第43号)	大字館市広尾町 (60~90)	展布区展布仮規則 (60~90億地) を購入会	<b>#</b>		宮下 (1~45) 北谷 (1~55)	宣下司 北谷司		(代及木山岩町・代及木砌岩町・代及木本町・ 代及木面ヶ岩町・代及木深町)	佐用五丁目 (元瓜昭司全・下通一丁目・下通二丁目・豊分司・宮代司道)	本町五丁目 1~47 本町大丁目 1~43
H14C13140-0	'			27-4		A197-20	250					東田川 (1~80) 野山 (1~99)	字田川町 円山町		初会一丁目 (代々木朝町・代々木山台町・代々木初台町)	E和43年1月1日報行	<b>69-78</b> eeste 1~48.50.
						武台神樂町	数日刊	大字狹谷神原町 (1~22)	展布区近台神奈町を購入合併			神教(1~34)	神嶽町		<b>都台二丁目</b> (代心木初台町・代心木本町)	(昭和42年12月21日 東京都告示第1231号)	<b>管理三丁目</b> 1~48 · 50~64
+九番組	.					第八大区一小区	新台牌原司を展布区へ編入 (府市選中第25号) <b>書版区</b>					大山 (1~225) 松澤 (1~91)	大山町 松瀬町		元代2本面 (代2本本司・代2本西原司・代2本上原司・	*9-78 (*9-78) *9-78 (*9-78)	<b>日ヶ谷一丁日</b> はだがり 1~34 日ヶ <b>谷二丁日</b> 1~33・35~50・ 52~56
统谷健排除町 统谷長谷寺門前町		渋谷御掃除町 渋谷長谷寺門前町				第山南町七丁目 第山北町七丁目	南山内町七丁日 南山北町七丁日	大字背山北町七丁目 (1~46)	市場区側山市町七丁日を購入合併 市場区側山北町七丁日を購入合併			神山 (1~59) 神南 (1~25)	神山町 神南町		代収本面ヶ台町) 田原一丁田	*9578 (*95782) *9578 (*95782)	<b>〒ヶ谷三丁日</b> 1~81 代尺本一丁日 ☆☆5 1~60
					-	然谷宮益町	然台宮証司	大字書芸町 (1~82)	市场区共台西登司を編入合件			福蘭 (1~4) 打下 (1~28)	特面司		(代权未納司· 代权未初台司·代权未西原司) 西蘇二丁曾	本権医工程(本利五丁日全) 本権大工程(本利六丁日全・本利一丁日産・様ヶ谷二丁日産)	代月末二丁目 1~45 代月末三丁目 1~59
二十番組 千駄ヶ谷町	干駄ヶ谷村	千 <b>联谷町方器上</b> 千駄ヶ谷町		干駄ヶ谷町	第三大区十二小区	千駄ヶ谷一丁目	日神区	十二年数ヶ谷村		干歇ヶ谷村	干散ヶ谷町	* 首地は「日新地質名権可辨表」	主観が第一丁目(314~327・329~358・		(代々木朝町・代々木西藤町・代々木大山町)	報か参一丁書(唯ヶ日一丁目全) 報か参二丁書(唯ヶ日二丁目)	代及木田丁田 1~62 代及木五丁目 1~3×5~68
千駄ヶ谷神鳴門前	干駄ヶ谷町	千駄ヶ谷町 千駄ヶ谷神明門前		千駄ヶ谷八幡町	干駄ヶ谷八幡町	千駄ヶ谷二丁目 千駄ヶ谷三丁目	千秋ヶ谷二丁日	干取ヶ日村・原田村・和田村を合併 大学千数ヶ谷	予証ヶ谷村学西彦書町・火富華田・甲賀町・ 川町・大倉町・地俣・森ヶ岳を存石也へ編入		問治40年4月1日振行 干駄ヶ台村を改称 (初治40年3月21日府告第60号)	*学名当日は『沈台町学名地間改正版』	553~573 • 1006)		●単三丁書 (代々木四原町・代々木大山町・代々木上原町)	個ケ巻三丁目 (間ヶ谷三丁目全・間ヶ谷二丁目) 登録一丁目 (世第一丁目全)	<b>手数後一丁書</b> せんごがり 1~15・17~36
干駄ヶ谷瑞円寺門前	城國寺門前	千駄ヶ谷珠円寺門前		1 447 (37 (494)	T 647 B7 WENG	千駄ヶ谷仲町一丁酉	千駄ヶ谷仲町一丁目	内線田商(314~327)(内線					千駄ヶ谷二丁目(359~487・1004・1007・		<b>昭和35年5月1日銀行</b> (第635年4月7日 - 7月961日日)	<b>使提工了目</b> (使得二丁目)	千款卷三丁目 1~41 - 50~63
千駄ヶ谷型舗寺門前 千駄ヶ谷大間町	整确等的的 大部町	千駄ヶ谷聖職寺門前 千駄ヶ谷大都町				千駄ヶ谷仲町二丁首 千駄ヶ谷大曽町	千款ヶ谷大部町 千款ヶ谷大部町	北の館(328~358)(北ノ館 町内(359~414)	3				1008 • 1010 • 1022 • 1024 • 1026~1029 • 1036 • 1037)		(日和35年4月7日 日本年10日) (日和35年4月21日 新西州第616日) 本第一丁目	管理三丁目 (世界三丁目全・世界二丁目差) 千能ヶ色一丁目	千数卷五丁图 1~35
干駄ヶ台吉祥寺領						千駄ヶ台西信濃町 千駄ヶ台甲製町	干駄ヶ谷西徳康町 明治12年4月22日 干駄ヶ谷甲貝町 円 千駄ヶ谷甲貝町	中村(415~427) 用册(428~471)					千秋ヶ谷三丁目 (488~550·1015)		(帽ヶ台本司一丁目・帽ヶ台本司二丁目) 本司二丁目 (帽ヶ台本司二丁目)	(干駄ヶ谷一丁日・干駄ヶ谷四丁日産・干駄ヶ谷大谷戸町産) 干駄ヶ谷二丁日	千枚巻大丁号
								水の口(472~487)(水ノ口 閉山(488~505)					干額ヶ谷田丁田 (574~828・1005・1011)		本物三丁目(順ヶ谷本町三丁目) 本物四丁目(順ヶ谷本町三丁目)	(干駄ヶ谷二丁目全・干駄ヶ谷三丁目・原西三丁目・干駄ヶ谷一丁目道) 干駄ヶ谷三丁目	<b>神会第二丁目</b> 1~35 神会第三丁目 1~42 神会第三丁目 1~32
	計劃	登 島 郡 千歌ヶ谷村	干载ヶ谷村	干敵ヶ谷村	干散ヶ谷村	干款ヶ谷村	商量島郡 商量島郡 干款ヶ谷村	宮下 (506~527) 大通 (528~550)					干敵が岩五丁目(829~1003)		本町五丁目 (種ヶ谷本町二丁目・種ヶ谷本町三丁目)	(千駄ヶ台三丁日・原啓三丁日・代々木外輔司・千駄ヶ台一丁日道・ 千駄ヶ台四丁日道)	###STR 1~32
	北朝				第三大区十五小区		1000	/周節 (551~573) 財産数 (574~731)							本町六丁島 (様ヶ谷本町一丁日・様ヶ谷本町二丁日・様ヶ谷原町)	<b>千数ヶ谷四丁目</b> (千駄ヶ台四丁目・千駄ヶ台五丁目道)	<b>神聖朝大丁日</b> 1~35
	下道				南山内町七丁目 近日登録目			下夕道(732~774) 小西(775~790)							<b>備ヶ倍一丁目</b> (増ヶ台祭司)	千載ヶ倍五丁目 (千駄ヶ倍五丁目・千駄ヶ台大台戸町道・千駄ヶ台一丁目僚) 千載ヶ倍九丁目 (千駄ヶ台大台戸町)	* 「本町」のヨミは昭和47年9月1日から「ホンマチ」 (昭和47年6月1日 東京都渋谷区告示第32号)
	Mes				7 FE SEN			大西 (791~827)							<b>御ヶ谷二丁目</b> (種ヶ谷本町一丁日・帽ヶ谷原町)		(昭和47年6月1日 東京都次日区台示明32号)
								財団 (829~875) 財団義 (876~929)					干駄ヶ谷大谷戸町(1012)		(増ケ谷三丁書 (増ケ谷本司二丁目・様ケ谷本司三丁目・ 様ケ谷承司・様ケ谷を司三丁目・	<b>昭和44年1月1日施行</b> (昭和43年11月16日 東京都告示第1193号)	
					中決倍材	中美各有	中美哲者	類句(930~937) 火銀(938~971)							<b>佐藤一丁目</b> (間ヶ谷世様町)	88-78 (58-182)	
								報道 (972~1002) 大ビ戸							電車二丁目 (暗ヶ谷原町・幅ヶ谷管琢町) 電車三丁目 (暗ヶ谷管琢町・幅ヶ谷中町)	西原三丁醇 (西原三丁日全) 元代中本館 (元代中本司全)	
	(海山)	原書村	原書符	原書村	原書村	原書符	原密社	大学原金 竹の下 (58~72) (竹ノ下)	原的材別均字五反田 (1 首称-33首称) を用作区へ。 (34音称-47音称) を含まなく違う。				第唐一丁首 (58~165・374・378・379・ 381・382)			初告-78 (初告-7日) 初告-78 (初告-7日全)	
	青山久保町 青山原西町		<b>品川県設置</b> 8862年2月9日		品川県真正により事管 競技は12月5日 日本は12月5日	明治7年2月18日豊沢村を合併 (日郷村取扱内務省往復留)	のかく2年1月10日本ト間口MAの所	北原吉 (73~165) 南原吉 (166~210)					原密三丁目 (166~210) 原密三丁目 (211~370・384・392~394・			代内本一丁目 (代内本一丁目全・千駄ヶ谷四丁目・千駄ヶ谷五丁目) 代内本二丁目 (代内本二丁目全・千駄ヶ谷五丁目)	
	長者ヶ丸 (長者丸) 羽根澤 (下次台村内飛地)		品川県 上数谷村	品川県	東京府豊島郡	第八大区三小区 上跌谷村	明日12年11月19日至上豊平村を合併 (日布道中第115号) 上 <b>決告社</b>	長田(211~300) 原宅泉(301~362)					396~399 • 401~403)			代々本三丁目 (代々木三丁目全) 代々本四丁目 (代々木四丁目全・代々木山台町道・初合一丁目)	
	五段田(沈谷長谷寺門前向通飛地)		上華沢村	上島沢村	上量只有	上量尺符	上皇兄村		下浜台村为南地田模尺を浜台村へ合併							代々木五丁書(代々木五丁書・代々木山台司道・代々木深司道)	
	が之下		TENN.	THE CONTRACTOR OF THE CONTRACT	72/10		下量尺寸 明812年11月19日下重尺村を合体 (后布理中第115号)									<b>昭和45年1月1日銀行</b>	
	灰毛丸 石田						明治19年6月17日下近台村学开開台の一部 展布区展布井可へ編入(明市連甲東57号)									(総約44年1月8日 東京都告示第1054号) <b>直比寿商一丁団</b> (憲比号同一丁日・思比号四一丁日道)	
	中華 <b>新田村</b> 瀬前	<b>製田村</b>	御田村	製田村	<b>唯田村</b>	製田村	新田村 新田山林町井町へ組入(日町北下州の75)	大字製田					初田一丁目 (1~16・88~162)			意比等第二丁目 (表比等第二丁目・恵比等四一丁日道・恵比等第一丁日道)	
	庚田塚							非研模(1~16) 相田(17~70)(期田)					秘囲三丁目(17~74) 秘囲三丁目(75~87・163~198)			<b>童比等確正丁目</b> (原司全・下週五丁日・思比等第二丁日道・思比等四一丁日道)	
	大原耕地 前耕地							大原 (85~87) 町田 (88~162)								<b>車比申四一丁日</b> (下週五丁日・長日戸町・八幅道三丁日・悪比寿四一丁日)	
	源氏山蘇地 亦羽根耕地							源氏山(163~195)								意比學哲二丁目 (策楽司・恵比寿西二丁日全・長台戸司道・恵比寿西一丁日道)	
	代々木材	代权木材	代权本材	代权本档	代权本档	代权本材	代权本材	* 代 名 簡 符 代和本班·國ヶ田村 大学代表本	8#	代双糖材	代 夕 信 町 大正4年11月10日施行 代本維材を改称		代交末酬司 (1~84) 代尺末山岩町 (85~464)			代金山町 (泉楽司・八橋送二丁日・八橋送三丁日・代宮山町全・長台戸司道)。	
	代々木朝町							新号 (1~84) 山谷 (85~464)			(大正4年11月9日日告第232号)		代本和语句(65~728) 代本本語(729~852)	<b>昭和17年5月21日第行</b> (6和17年5月21日 新音示第574号)		議事 町 (下週五丁目・接乗司・衛台司・八橋道二丁目・八橋道三丁目道・仲山町)	
	地域在							WB(55~454) 税性(465~728) 本村(729~853)					代尺木西原町 (853~1029)	(68和 7年5月21日 附告示第574号) 代々木上原司の一部を編入 代々木上原司。代々木西原司の各一部を編入		(ト地力)日・孫東司・南日司・八曜池二月日・八曜池二月日池・拝山司) (ト地力)日・孫東司道・八曜池二月日遊) (京山司・孫東司道・衛日司道)	
	#19 #18							西原 (853~1029)					代尽未大山町 (1030~1087) 代尽未上房町 (1088~1360)	代々木上参司・代々木四参司の日一形を編入 代々木西泰司の一形を編入		■ 昼 町 (核丘司・大和田司・衛台司道・南平台司道)	
	富ヶ谷(富谷) 諸葛							丸山(1030~1087) 上原(1088~1360)					代卒末第9首町 (1361~1582) 代卒末第町 (1583~1733)			南平台町 (南平台町・大和田町・上通四丁田・黄台町道・林山町道・桜丘町道)	
	初皇							蓋ヶ谷(1361~1584) 第号(1585~1736)					代尺末外編句(1734~1814)			<b>建立版一丁目</b> (两平台司·大和田司·上通三丁目·上通四丁目·核丘司道)	
	種ヶ谷村	間ヶ谷谷	棚ヶ谷谷	種ヶ谷村	種ヶ谷村	種ヶ谷村	<b>服ヶ谷村</b>	外属(1737~1814) 大字幅ヶ音					曜ヶ谷本町一丁目(1~93)			<b>遊玄原二丁音</b> (大和田町・円山町・上述三丁目・栄造一丁目) 円 山 町	
	新町			<del></del>		<del></del>		下町(1~93) 本村(94~353)					間ヶ谷本町二丁目(94~355・721~764)			(円山町・上通四丁目・米通一丁目・米通二丁目・上通三丁目差). 神 動 看 (円山町・上通四丁目・特殊町全・米通二丁目)	
	世等		作成に使用した参考資料:					本村北 (354~623) 本村吉 (624~720)					幅ヶ谷本町三丁目 (356~720)			<b>学田川町</b> (学田川町・上通三丁目・神宮通一丁目・大均通・栄通一丁目)	
	ພ້ອ່	<u> </u>	「然后医史」(1962 然后医) 町。 「新柳然后医史」(1966 然后医)					世後(721~764) 2第(765~894)					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			神能一丁目 (上述三丁目・北谷司全・神宮活一丁目・神同司・字田川司道)。	
	小名は『新編式蔵国風土形稿 豊泉郡1	(B)	「関係が各区史」(1966 が各区) 「国際が各区史」(2003 が各区) 「特別区町名町区総督」(2012 等					表際 (765~894) 商原 (895~951) 商任席 (952~1121)					帽ヶ谷奈司 (765~951) 帽ヶ谷芒帰司 (952~1398)			(工造二)日・北谷町芝・神田田一」日・神田町・宇田川町造)。 神龍二丁田 (時間町・代々木深町・韓田三丁日道・神山町道・置ヶ日一丁日道)。	
	() は『射綱武蔵風土形稿 第1巻』		[区制沿革(御史紀要 5)』(1958	東京都)				<b>北田塚</b> (1122~1398)					<b>種ヶ谷中町(1399~1564)</b>			代わ木神器町(代た木三丁目・代た木山台町・代た木外幕町・	
	主に決替町となる区域		『於谷区 住居表示地葡萄理実績概要』 『新編武蔵風土記稿 第1巻(大日本地	協大系 7)』(1970 篠山間)				中間日(1399~1564)								神國司全・代々木塚司道・代々木五丁日道・秘田三丁日道・ 神南司道・竹下司道・富ヶ谷一丁日道)	
	主に千駄ヶ谷町となる区域		『新編武蔵国風土記稿 豊島郡1巻』序 『渋谷町字名均督攻正師』(1928)	書本影印度刻本(1998 文献出版) 改包司)				* 借地は『新修渋皆区史』中巻 学名( )は別図上の表記					* 簡地は『旧朝地曾名福知縣表』 * 町名ヨヨは『渋谷区朝概要』昭和32年版			(1) 柴酒一丁目は昭和45年1月1日施行	I
	主に代々側町となる区域		[旧新均曾名稱对照表] (1954 沈 [昭和33年 昭和34年 昭和35年 均曾	整理日朝朝日对解表』(沈谷区)												*「全」は全城、「道」は道路敷、「河」は河川敷、「鉄」は鉄道敷	
	<b>渋谷区域</b>		[昭和35年 昭和36年 地面整理旧前章 『沈台区勢概要』昭和32年版(1958													<b>密和40年4月1日</b> (昭和40年3月31日版行 都告示明281号) 新商区高部司 (16/1・17) の一部を渋谷区へ組入	
		L														原他一丁目 (55/1・55/2) の一部 (開接返開) を形区へ編入 原他一丁目 (54) 神密部二丁目 (57) の一部 (開接返路) を新他区へ編入	